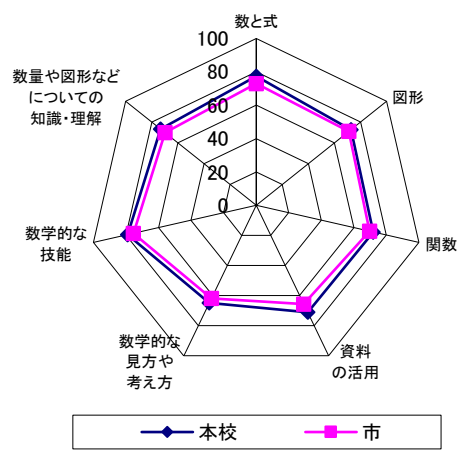


宇都宮市立陽東中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と式	77.4	73.0	67.5
	図形	72.7	71.1	59.5
	関数	71.9	69.7	60.0
	資料の活用	71.1	65.6	58.5
観点別	数学的な見方や考え方	64.9	61.8	49.6
	数学的な技能	79.0	75.4	68.9
	数量や図形などについての知識・理解	73.3	69.8	62.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	○市の正答率を4.4ポイント上回っている。特に2次方程式を解く問題が市の正答率よりも14.7ポイント上回っている。 ●市の正答率は上回っているが、2次方程式を利用し解く文章問題の正答率が40.9ポイントである。	・授業中に、2次方程式の利用の問題を繰り返し解くことで、定着を図りたい。 ・基本的な計算問題を定期的に宿題にするなど、さらに計算力を向上させるための工夫をしていく。
図形	○市の正答率を1.6ポイント上回っている。特に多角形の内角の和を求める問題の正答率は市の正答率より4.5ポイント上回っている。 ●三角形の高さを表す線分を作図する問題の正答率は市の正答率より2.2ポイント下回っている。	・図形に関する定理(『 n 角形の外角の和は 360° 』等)を記載した掲示物を廊下などに貼り、生徒が何度も確認できる環境を整え、知識の定着を図りたい。 ・画像や具体物を使用した授業を展開していき、図形に対する苦手意識の解消を図りたい。
関数	○市の正答率を2.2ポイント上回っている。特に問題文を理解し、数量を求める問題の正答率が市の正答率よりも4.3ポイント上回っている。 ●市の正答率は上回っているが、グラフから読み取る問題の正答率は45.9ポイントである。	・ x の2乗に比例する関数における授業で、比例、反比例、1次関数についての復習を取り入れ、表・グラフ・式におけるそれぞれの特徴を繰り返し押さえながら、知識の定着を図りたい。 ・グラフと図形を組み合わせた課題を多く取り扱うことで、問題に慣れ、苦手意識を払拭できるような工夫をしていく。
資料の活用	○市の正答率を5.5ポイント上回っている。特に度数分布表から平均値を求める問題が市の正答率より7.7ポイント上回っている。	・度数分布表や相対度数、中央値等の意味を正確に理解し、知識の定着が図れるよう、授業中における用語を確認を定期的に行っていく。